

第七十五回帝國議會 農產物檢查法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十五年三月二十三日(土曜日)午後二時
八分開會

出席委員左ノ如シ

委員長 末松備一郎君

理事木原 七郎君 理事森下 國雄君

理事馬岡 次郎君 理事伊東 岩男君

長野 綱良君 成島 勇君

吉植 庄亮君 樋口善右衛門君

高橋熊次郎君 東條 貞君

森 幸太郎君 前川 正一君

大石 大君 北 勝太郎君

岩瀬 亮君

同日吉植庄亮君理事辭任ニ付其ノ補闕トシ
馬岡次郎君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 岡田喜久治君

農林省農務局長 土屋 正三君

物價局長 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農產物檢查法案(政府提出)

日本輸出農產物株式會社法案(政府提出)

○末松委員長 是ヨリ開會致シマス、此ノ
場合一言御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス
コトハ、本委員會ハ昨日午前十時カラ開會
スル豫定デアリマシタシ、本日ハ午前十時
カラ開會スル豫定デ公報御通知シテ置キ
マシタガ、本案ハ非常ニ重大ナル法案デア
ル爲ニ、委員ノ間ニ於テモ、或ハ政府ノ間

ニ於テモ種々ナル議論ガアリマシテ、是等
ヲ懇談會ニ依ツテ纏メル爲ニ、遂ニ昨日ハ
會議ヲ開クニ至ラズ、今日モ午前中ハ是等
ノコトニ時間ヲ費シマシタ爲ニ、會議ヲ開
クニ至ラナカッタコトハ、甚ダ遺憾デアリ
マスケレドモ、サウ云フヤウナ事情デアリ
マスカラ、各位ノ御努力ヲ謝スルト同時ニ、
懇談會ノ爲ニ遂ニ本會ヲ開クニ至ラナカッ
タコトノ御諒解ヲ願ツテ置キマス

次ニ吉植庄亮君ハ理事ヲ辭任セラレマシ
タノデ、理事ノ補闕選舉ヲ行ハネバナラス
コトニナリマシタガ、是ハ先例ニ依ツテ委
員長ヨリ指名シテ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○末松委員長 御異議ナシト認メマシテ、
ソレデハ馬岡次郎君ニ理事ヲ御願致シマス

○末松委員長 前會ニ引續キ質問ヲ繼續致
シマス——高橋熊次郎君

○高橋委員 高橋熊次郎君 關係スル問
題ニ付テ質問ヲ致シタイノデアリマシテ、
之ニ對シ政府ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒ
マス、政府ハ、馬鈴薯澱粉ヲ指定農作物カ
ラ除外ハシナイガ、其ノ集荷ニ當ツテハ馬
鈴薯澱粉ニハ特別ヲ認メテ、本法ニ依ル統
制ヲ行ハズニ、澱粉ノミノ統制ヲ認メ、
其ノ統制機關ヲ通ジテ輸出用澱粉ヲ確保ス
ル方法ヲ執ツテモ宜イト言ハレ、且ツ澱粉
自體ノ統制ニ對シテハ政府モ協力ヲ吝ムモ
ノデナイト言ハレマシタガ、更ニ之ヲ明確
ニスル爲ニ、次ノ二點ニ付テ御答辯ヲ煩ハ

シタイト思フノデアリマス

其ノ一ハ、馬鈴薯澱粉ノミナラズ全澱粉
界ハ、現在配給統制ヲ行フ必要ニ迫ラレテ
居ル實情ニ鑑ミマシテ、政府當局ハ此ノ際
兩者ノ行ハントスル全澱粉ノ統制ヲ指導シ
且ツ支援シテ、急速ニ是ガ整理ヲ行ハシム
ルヲ適當ト考ヘルガ御所見如何

其ノ二ハ、馬鈴薯澱粉ニ對シテハ指定ハ
シテモ、其ノ統制ハ澱粉關係業者自身ノ統
制ニ任ス、輸出品ハ其ノ自治統制機關ヲ
通ジテ本社ヲシテ之ヲ確保セシムルヲ適當
ト考ヘルガ、政府ノ所見如何、此ノ二點ニ
付テ御答辯ヲ煩ハシマス

○岡田政府委員 只今御質疑ノ點ニ付キマ
シテハ第一ノ點、第二ノ點、大體ニ於テ御
趣旨ノヤウニ致シタイト云フ考ヲ持ツテ居
リマス

○高橋委員 更ニモウ一ツ地方的ノ問題デ
アリマスガ、例ヘバ靜岡縣ノ如キニ於キマ
シテハ、政府ノ御趣旨ニ基イテ農業倉庫其
ノ他ニアル米穀ヲ全部供出シテ居ル今日、
農家或ハ一般需要家ガ消費スル米穀ハ商人
ノ手許デアアルノデアリマスガ、商人ハ白米
以外ハ之ヲ賣捌クコトヲ望マナイ實情ニア
ツテ、需要家ハ非常ナ困難ニ陥ツテ居ルノ
デアリマス、政府ハ玄米ヲ販賣セシメルヤ
ウニ是等業者ヲ指導サレコトヲ望ムノデ
アリマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ承
リタイト思ヒマス

○岡田政府委員 御尋ノ點ニ付キマシテハ
私共ノ方ニモ陳情様ノコトガアリマシテ、

付託議案

農產物檢查法案(政府提出)(第九
六號)
日本輸出農產物株式會社法案(政
府提出)(第一〇二號)

御話ノヤウナ傾向ニアリマスコトモ既ニ聞
イテ居ルノデアリマス、而シテ左様ナ事デ
アリマスコトハ固ヨリ望マシイコトデア
リマセヌノデ、是非トモ適當ニ之ニ對シテ
善處致シタイト云フ考ヲ目下持ツテ居リマ
ス

○高橋委員 了承致シマシタ
○末松委員長 了承致シマシタ
○東條委員 北君カラ質問書ノ出テ居ル問
題ニ關シテデアリマスガ、私ハ北海道廳長
官ノ致シマシタコトガ失當デアルトカ、越
權デアルトカナイトカ云フコトノ御答辯ヲ
此ノ席デ承ラウト云フノデアリナイノデア
リマスカラ、此ノ點豫メ申上ゲマス、十一
月八日附デアリマスガ、商工次官ノ依命通牒
及ビ其ノ後商工省トノ打合ノ結果、アノ質
問書ニアリマスヤウナ事態ガ現實ニ起ツ
タ、之ニ對シテ質問書ガ出タ、ソレカラ新
聞紙ノ記事ヲ、別ニ私之ヲ事實ナリトカ
或ハ事實ト相反スルト云フコトヲ申スノデ
アリマセヌガ、兎モ角三月三日ノ小樽新聞
ニ、「白米卸値問題アツサリ解決ス、北海道
廳長官ヘノ取消命令ヲ農林省ガ確約シテ」ト
云フ見出しデ記事ガ出テ居リマス、是ハ大
分長イノデアリマスカラ、極ク要點ダケヲ
申上ゲマス、同委員會開會ニ先ダチ、各
派理事ニ對シテ、此ノ問題ガ取上ゲラレ
バ委員會ガ紛糾スル虞ガアルノデ、北海道
廳長官ニ對シテハ近ク取消命令ヲ出スコト
ヲ確約シ、委員會側モ之ヲ諒承シ、斯クテ
同問題ハ一般ノ豫想ヲ裏切りアツサリ解決

シタト云フ報道ガアルノデアリマス、此ノ問題ニ付テ伺ヒマス、政府ハマダ質問書ニ對シテ御答辯ヲナサナイ、多分農林、商工兩當局ノ間ニ於ケル法文ノ解釋ニ付テ御意見ノ一致ガナイ爲ニ、マダ答辯書ガ出ナイデアラウト想像ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、北海道廳長官其ノ人ハ別ニドウ斯ウト云フ譯デアリマセヌガ「ノ」北海道廳長官ト云フ地位ハ非常ニ重イデアリマス、御承知ノ通り時局柄經濟統制バカリデハナク、物資動員計畫ニモ關係致シマセウシ、生産擴充ノ仕事モヤリ、銃後ニ於ケル有ユル問題、精神總動員運動、一般ノ行政事務、總テニ於テ人心ニ影響スル所ガ非常ニ大キイノデアリマス、又斯様ナ問題ハ官廳ノ威信ニモ關スル、北海道長官ガ自分ノ責任デ、自分ノ一料簡デヤリマシタコトデアルト致シマスナラバ、是ハ別ニ考ヘナケレバナラスノデアリマスガ、依命通牒ガ本トナリ、其ノ後本省ト打合セノ結果處置ヲセラレタ、而モ唯或ル事柄ヲ決裁サレタト云フコトデアリマスナラバ、是ハ別デアリマス

原因スル出來事ニ對シマシテ、政府當局ハ速ニ御決定ニナツテ適當ノ處置ヲ御執リニナルコトガ必要デアアル、而モ一日モ速ニ此ノ處置ヲナサナケレバナラスノデアアル、之ニ付テ先ツ依命通牒ノ出場所デアル商工當局ノ御考ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

竝ニ第九號ニ於テハツキリシテ居ルノデアアル、農林大臣ノ權限ニ屬スルコトヲ商工省ガ勝手ニ差支ナイト云フ工合ニサレルカラ、斯ウ云フ大キナ問題ガ起ルノデアリマス、他ノ權限ニ屬スルコトヲアナタノ方ガ勝手ニヤルコトガ出來ルカ出來スカ、能ク御考ニナレバ直グ分ルト思フ、小賣價格ノ指定ナラバソレハ當然デス、生産者團體ノ價格ハ農林省ガヤルト決マツテ居ル、アナタノ方ガ指定サレルコトハ甚ダ怪シカラスデハナイカ、ドウ云フ權限デオヤリニナツタノデアルカ、ソレヲ承ラナケレバナラス

タイ、斯ウマデ言ツテ居ル、是ダケ言ツテ居ル問題ヲ、アナタノ方ダケガ獨斷デ、アナタダケノ解釋デサウ云フコトヲ言ツテハ大變ナ問題ガ起ルデハナイカ、農林省ト商工省ノ意見ガ一致シタノデアレバ一致シタデ、政府トシテ私ノ質問ニ對シテ立派ニ答辯シナケレバナラス、其ノ答辯ガ六十日ニナツテ、將ニ會期ガ過ギントスルニ出サレヌデ居ルニ拘ラズ、自分ダケノ解釋ヲ以テサウ云フ工合ニヤツテ行カレルト云フコトハ甚ダ不徳義千萬ナコトデアアル、兩省ガ打合セヲシテ完全ナル御答辯ヲナサイ、アナタダケデサウ云フ御答辯ヲシテ、胡麻化シテ此ノ場ダケヲ收拾シテ行カウト云フコトハ怪シカラス話デアリマス

○新倉政府委員 白米ノ價格ニ付キマシテ商工省カラ依命通牒ヲ出シマシテ、道府縣ニ於テ白米ノ小賣價格ニ付テ指定セラレルヤウニト云フ通牒ヲ出シテ居リマス、之ニ基キマシテ各道府縣ニ於キマシテ白米ノ小賣價格ヲ決定シテ居ルノデアリマス、北海道ニ於キマシテ白米ノ小賣價格ヲ決メマス際ニ、是ノ基準トナリマス產地「レール」渡ノ價格ヲ決メタノデアリマスガ、此ノ決メアル際ニ於キマシテモ、實際ノ實情ニ付キマシテハ大體ノ御話モアリマシテ、當時ニ於ケル諸般ノ情勢カラ見マシテ、北海道ノ白米價格ヲ決メタト云フコトハ何等差支ナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○北委員 只今小賣價格ノ指定ヲサレテ、同時ニ卸賣價格ノ指定ヲシタ、即チ「レール」渡ノ價格ヲ指定シタコトハ差支ナイト云ツテ居ラレルノデアリマスガ、統制令ノ第十五條ニハ、生産者若クハ生産者團體ノ販賣價格ニ付テハ、是ハ農林大臣ノ主管事項ニハツキリシテ居ルノデアリマス、サウ云フ農林大臣ノハツキリシタ問題ヲ、ソレヲ商工省ガ獨斷デ、サウ云フコトガ適當ナリト云フヤウナコトヲ言ハレルコトハ非常ナ間違ヒデアアル、農民ト雖モ統制令第十五條ハ能ク知ツテ居ル、又白米ガ農林大臣ノ關係デアルト云フコトニ付キマシテハ、當時ニ於ケル農林、商工兩大臣ノ告示第八號

○新倉政府委員 米ノ問題ニ付キマシテ農林省ト商工省トノ兩省ニ關係ノアルコトハ御話ノ通りデアリマス、大體現在ニ於キマシテハ、玄米ニ關シマシテハ農林省、白米ニ付キマシテハ商工省デヤル、斯ウ云フ方針デ進ンデ居リマス、隨ヒマシテ白米ノ問題ニ付キマシテ北海道長官ガ執リマシタ處置ハ、何等差支ナイト思ツテ居リマス

○東條委員 大體先程ノ御答辯デ諒承致シマシタガ、サウ致シマス、此ノ點ヲハツキリ伺ツテ置キタイト思フ、只今讀上ゲマシタヤウナ記事モ出テ居ルコトデアリマス、北海道長官ノ處置ヲ御取消ニナリマシタカドウカ、或ハ未ダ御取消ナドセラレテ居ラヌト致シマスレバ、之ヲ御取消ニナルヤウナコトヲ御考ニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲハツキリ伺ヒタイ

○北委員 只今小賣價格ノ指定ヲサレテ、同時ニ卸賣價格ノ指定ヲシタ、即チ「レール」渡ノ價格ヲ指定シタコトハ差支ナイト云ツテ居ラレルノデアリマスガ、統制令ノ第十五條ニハ、生産者若クハ生産者團體ノ販賣價格ニ付テハ、是ハ農林大臣ノ主管事項ニハツキリシテ居ルノデアリマス、サウ云フ農林大臣ノハツキリシタ問題ヲ、ソレヲ商工省ガ獨斷デ、サウ云フコトガ適當ナリト云フヤウナコトヲ言ハレルコトハ非常ナ間違ヒデアアル、農民ト雖モ統制令第十五條ハ能ク知ツテ居ル、又白米ガ農林大臣ノ關係デアルト云フコトニ付キマシテハ、當時ニ於ケル農林、商工兩大臣ノ告示第八號

○北委員 大變ナ間違ヒデアアル、農林大臣ハ明ニ、米ニ關スル限リ農林大臣ノ權限デアルト言ツテ居ル、又例ノ告示第九號ハ白米ノ卸賣價格ニ關スルコトデアアルガ、ソレハ農林大臣ト連署デ出シテ居ルノデアツテ、而モ其ノ事務ハ農林省ノ主管事項デアルガ故ニ、農林省ガ全部其ノ事務ヲ行ツテ居ルノデアアル、サウ云フ工合ニハツキリシタ問題デアアルノニ、ドウモ商工省ハサウ云フ横槍ノコトヲヤツテ、サウシテ是ガ適當ナリト云フコトハ甚ダ怪シカラス、此ノ問題ニ付テハ農林省ハ承服シテ居ラヌ管デアアル、農林大臣ハ此ノ間モ私ニ對シテ、此ノ問題ハ大變難カシイ問題ダカラ、委員會ヲ離レテ別ノ機會ニ私ト特ニ相談ヲシテ決メ

○新倉政府委員 北海道長官ノ處置ヲ取消シタコトハゴザイマセヌ、又只今ノ所取消ス考ハゴザイマセヌ

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

○伊東委員 日本輸出農產物株式會社ニ關シマシテ、極ク簡單ニ二點ダケ農林大臣及ビ商工大臣ニ御尋シタイト考ヘテ居リマス、第一點ハ茶種及ビ茶種油ノ公定價格ノ設定ヲドウ考ヘテ居ルカト云フ問題デアリマス、大體昨年マデハ茶種油ハサウ高クナカツタノデアリマスガ、最近非常ニ高クナツタノデア

リマス、茶種油ト其ノ原料デアル茶種ハ不可分、關係ニアルノデアリマスカラ、公定相場ノナイ今日ニ於テハ、油ガ高クナレバ種ガ高クナルト云フコトニ相成リマス、十四年一月ノ内地ノ種油ノ價格ハ凡ソ二十七八圓ダツタト考ヘマス、一年後ノ十五年一月ニハ内地ノ相場ハ四十五六圓ダト考ヘテ居リマス、然ルニ只今ノ油ノ相場ハ閣相場デ此レ六十圓位ノ相場デアリマシテ、隨テ茶種ノ相場モ三十圓位ノ取引ダト信ジテ居リマス、斯様ナ價格ノ亂脈ニ付テハ之ヲ防止シナケレバナリマセヌ、ソコデ油ノ價格ヲ抑ヘルコトニナリマス、隨テ茶種ノ價格ガ非常ニ安クナルノデアリマス、隨テ農家ノ收入ガ激減スルノデアリマスガ、之ニ付テハ相當研究シナケレバナリナイ問題デ、適正價格ノ問題ハ極メテ焦眉ノ問題ダト考ヘテ居リマス、假ニ只今ノ油ノ値段ヲ四十五圓ト致シマスナラバ、ソレカラ採算致シマシテ茶種ノ價格ハ先ヅ二十圓以上デ買ツテ宜イト想像致シテ居リマスガ、只今各縣デ協定價

ト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカ、以上ノ二點ニ付テ農林商工兩大臣ノ御答辯ヲ求メマス

○土屋政府委員 茶種、茶種油ノ價格ノ公定ノ必要ナルコトハ、伊東委員ノ仰セノ通りデアリマス、是ハ小麥、大麥等ノ麥類、竝ニ大豆油等ノ植物油ノ價格ヲ決定致シマセヌカラ今日マデ延ビタノデアリマスガ、既ニ是等ノ品物ノ價格モ決定致シマシタ今日デアリマスカラ、政府トシテハ速ニ茶種、茶種油ノ公定價格ヲ適正ニ決定シタイト考ヘマス、是ガ決定ニ當リマシテハ、只今御述ニナリマシタ御意見ヲ參考ニシタイト思ヒマス

格ト云フモノヲ拵ヘマシテ、大體二十圓カラ二十一圓ニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、私共ハ之ヲ最モ適正ナ價格ト考ヘテ居リマスガ、今後政府ガ適正價格ヲ決定スルニ當ツテドウ云フ工合ニ考ヘテ居ラレマスカ、若シモ之ヲ急ニ安クスルコトニナルト、農家ノ收入ニ影響ガアルガ、此ノ點ドウ云フ工合ニ考ベテ居ラレカト云フ點、モウ一點ハ新會社ノ集荷方法ニ付デアリマス、大體新會社ノ總テノ物ノ集荷方法ハ、産業組合ト商人又ハ商業組合ノ二本建デアルト私共ハ考ヘテ居リマス、又其ノ集荷ノ比率等モ此ノ場合ニ決定サレルコトガ、産組ト商組ノ摩擦ノナイヤウニスル唯一ノ方法ダ

ソレカラ新會社ノ茶種ニ對スル集荷ノ方法ニ付キマシテハ、努メテ在來ノ集荷機構ヲ尊重スル考デアリマシテ、府縣々々ノソレゾレノ特殊ノ事情ニ應ジマシテ、差支ナイヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○新倉政府委員 只今ノ問題ハ農林當局ノ御答ニナリマシタト全然同一ノ考デアリマス

○伊東委員 小麥ノ公定相場ガ決定致サレマシタガ、十二圓七十幾錢ト考ヘテ居リマス、從前ノ農產物ノ物價ノ比較カラ申シマスト、大體小麥ト茶種ハ二三圓ノ差ガアルコトガ普通デアツタヤウデアリマスガ、斯様ナコトヲ基礎ニ置イテ考ヘルト、茶種ノ公定價格ハ十五六圓ニ決定サレルコトニナリハシナイカト考ヘルノデアリマス、然ルニ只今各縣デ大體公認致シテ居リマス價格ガ二十圓乃至二十一圓デアリマスノデ、又只今ノ油ノ相場カラ申シマシテモ、其ノ價

格ヲ適正ト考ヘテ居リマスノデ、公定相場決定ニ當ツテハ以上ノ趣旨ヲ參酌サレマシテ、適正ナル價格ノ決定アランコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○末松委員 他ニ御質問アリマセヌ

カ——ソレデハ委員長カラ農林大臣ニ質問致シマス、農產物検査ノ手數料ハ、現下ノ米穀事情ト國營検査ノ本質トニ鑑ミ、之ヲ徵收スベキモノニアラズト思惟スルモ、若シ財政ノ都合等ニテソレガ不可能ナリトスルナラバ、地方消費米ノ検査ニ限り之ヲ免除スル等、別ニ適當ナル方法ヲ講ジ、其ノ成案ヲ得ルマデ是ガ施行ヲ延期スルコトニ致サレタイト存ジマスガ、之ニ對スル政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今御質問ノ御趣旨ハ至極御尤モト存ジマス、隨テ政府ト致シマシテモ、財政上ノコト等モ篤ト考慮ノ上ニ於キマシテ、極力其ノ實現ニ努力スルコトニ致シタイト存ジマス、隨テ其ノ成案ヲ得ルマデニ、本法ノ施行ニ付キマシテモ、御意見ノ通りニ實行致シタイト存ジマス

○末松委員 只今御答辯ノ趣旨ハ諒ト致スノデアリマスガ、要スルニ本法施行ニ付テハ、少クトモ前申上ゲタ如キ程度ニ手數料ノ徵收ヲ止メタルコト云フコトヲ希望スルノデアリマスカラ、若シ只今ノ質問ノ趣旨ガ實行ガ出來ナイ際ニ於テハ、本法ノ施行ヲ、其ノ實行ノ出來ルマデ延期サレタイト云フコトノ質問デアリマスカラ、其ノ趣旨ニ依ツテ、是非之ヲ實現スルヤウニ、大藏省其ノ他ノ當局ト十分ナル御交渉ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ一括シテ數箇ノ點ニ付テ質問致シマス、只今ノ質問中ニハ、地方消費米ノ検査

ト云フコトニ付テ申上ゲマシタケレドモ、其ノ他ノ雜穀ニ對シテモ、米同様、府縣内消費ニ對シテハ手數料ヲ免除スルコトニ致シテ貰ヒタイト思フノデアリマス

第二ニハ重量ト容量ノ二本建デ行ク外、

此ノ際ハ仕方ガナイト云フ先日來ノ御答辯デアリマス、併シナガラ、實際上ニ於テハ成ベク早く其ノ調査ヲ完了シテ、出來得ル限り重量制ヲ至急ニ施行スルコトヲ要望致シタイト思フノデアリマス

第三ハ俵裝ノ問題デアリマシテ、農業倉庫ニ於ケル共同調製、及ビ共同精白ノモノハ略裝ニシテ貰ヒタイト云フ要望デアリマス、次ニハ當該府縣内ニテ消費スルモノハ單俵ヲ認ムルコト、次ハ其ノ他ニ移出スルモノハ二重俵裝トスル、俵裝ニ付テハ此ノ三事項デアリマス

第四ハ小作米ニ對シテハ、從來慣例其ノ他實施シテ居ル如ク、補償又ハ獎勵ニ關スル全穀ノ給與規定ヲ命令ノ中ニ設クルコトデアリマス

第五ハ縣吏員ノ恩給資格者ノ引繼ニ際シテハ、本人ノ不利益ニナラザルヤウ特別ノ考慮ヲ拂ハレタイ、此ノ問題ハ屢、本委員會ニ於テモ出タ問題デアリマシテ、多數ノ縣吏員ガ恩給資格ヲ得ントシテモ、國ニ引繼ガレル爲ニ其ノ資格ヲ失フトカ、其ノ他色ノ不利益ガ豫想サレルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ最善ノ努力ヲ以テ、是等ノ人々ノ不利益トナラザルヤウ、特別ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ニ付テ明確ナル大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今御尋ニナリマシタ諸點ニ付テ一應御答致シマス、雜穀ノ問題ニ關シマシテハ、米ニ對スル場合ノ答辯ノ意

味ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ重量制ト容量制ノ二本建ノ問題ニ關シマシテハ、是ガ調査ノ完了致シマシタ上ハ、御尋ノヤウナ趣意ニ從ツテ處理シタイト思ヒマス

次ニ俵裝ノ件ニ付キマシテハ、俵裝ハ成ベク簡易ニ致シマシテ、負擔ノ輕減ヲスルコトニ努メタイト考ヘマス

次ニ小作米ニ對スル問題ニ付キマシテハ、御尋ノ御趣旨ニ鑑ミマシテ適當ナル處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

最後ニ縣吏員ノ恩給資格者ノ引繼ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ屢、御答ヲ申上ゲタ所デアリマスガ、特別ナ考慮ヲ拂ヒマシテ、本人ノ不利益ニナラザルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○末松委員長 次ニ日本輸出農產物會社法案ニ付テ御尋致シマス、本法案ノ資料トシテ政府ノ提出シタル命令事項ハ、必ズ政府ガ此ノ通りニ實行サルモノト思フノデアリマスガ、其ノ第二十條第一項ノ命令事項ニ左ノ一項ヲ加ヘルコトニ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ三ノ次ニ四トシマシテ「馬鈴薯澱粉及製油原料用菜種ニ付テハ前三號ノ規定ハ之ヲ適用セザルコト」ト云フノデアリマシテ、是ハ本委員會ニ於テモ質問サレタ如ク、馬鈴薯澱粉ノ輸出ハ非常ナ僅少ノ量デアツテ、之ヲ統制スル必要ハナカラウト思フノデアリマス、又製油原料用菜種ハ九州地方等ニ於テ、之ヲ統制スルコトニ依ツテ業者ガ失業シ、其ノ他ノ不利益ヲ被ルト云フコトニ依ツテ、屢、本委員會ニ於テモ問題ニナツテ居ルノデアリマシテ、是等ハ輸出農產物ト云フ法律ノ名目カラ言ツテモ、之ヲ統制スル必要ハナカラウト思フノデアリ

マス、隨テ只今朗讀シタ如ク、前三號ノ規定ハ是等ノ物ニ付テハ適用セザルコトニ改メテ貫ヒタイト思フノデアリマス、ソレニ對スル農林大臣ノ御言明ヲ願ヒマス

○島田國務大臣 只今委員長ノ御示ノ通りニ成ベクヤルコトニ致シマス

○末松委員長 モウ一ツ御尋致シマス、先日来ノ質問應答ニ依リマスレバ、販賣ハ會社カラ特別ノ輸出業者ニヤラセルコトニナツテ居リマスルガ、其ノ場合ニ於テ生産者カラ會社ニ委託シテ、其ノ利益ハ生産者ガ得ルト云フコトニスルコトガ適當デアラウト考ヘタノデアリマス、併シ政府ノ答辯ニ依レバ、ソレハ將來價格ノ暴落其ノ他ニ備ヘル爲ニ會社ニ於テ留保スルト云フ話デアリマシタケレドモ、是ハ委託販賣ノ方法ニ依ツテ、生産者カラ會社ニ委託スルト云フ方法ヲ開イテ置クコトガ適當デアラウト思フノデアリマス、隨テ業務規程ノ制定ノ際ニ斯ウ云フ字句ヲ挿入シテ貫ヒタイト云フコトヲ要望スルノデアリマス、即チ「一指定農產物ノ買入及販賣(受託販賣ヲ含ム)ノ方法、價格其ノ他買入及販賣條件ニ關スル事項」斯ウ云フヤウナ規定ヲ、業務規程制定ノ際ニ挿入シテ貫ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對スル政府ノ決意ヲ御尋シマス

○島田國務大臣 一向差支ナイト思ヒマスカラ成ベク其ノ通りヤリマス

○大石委員 手數料ノ問題ニ付キマシテ、只今委員長ト農林大臣トノ質問應答ノ中ニ於テ一點大臣ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス、委員長ヨリノ問ハ、農產物検査ノ手數料ハ、現下ノ米穀事情ト國營検査ノ本質トニ鑑ミ之ヲ徴收スベキモノニアラズト考ヘル、是ガ前段デアリマス、併シ財政ノ都合デソレ

ガ不可能ナラバ、地方消費米ノ検査ニ限リ之ヲ免除スル云々ト斯ウ二ツニ分レテ居リマス、ソレニ對スル御答ハ、御趣旨ハ至極御尤モト存ジマスカラ、財政上ノ事モ篤ト考慮ノ上、極力是ガ實現ニ努力致シマス、斯ウ御答ニナツテ居リマス、サウ致シマスト此ノ間ノ前後後段併セテ極力實現ニ御努力ナサルト云フ意味デゴザイマセウカ、此ノ點伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 是ハ只今御答申シタ通りノ意味ニ御諒承願ヒマス、即チ委員長ノ御問ニ對シテ私ガ御答シタ點ハ、免除スルト云フ意味デ、此ノ間ニ於テ政府トシテ或ハ大藏當局ト相談シ、又手數料ノ問題ニ付テ全體トシテ考ヘル、サウ云フ點ニ付テ政府トシマシテハ、マダ研究スル點ガアリ、打合ハスル點ガアリマスカラ、御趣旨ノ大體ニ付テハ諒承致シマスカラ、此ノ趣旨ヲ實現スルヤウニ努力シタイ、此ノ御趣旨ヲ沒却スルヤウナ結果ニナリ、若クハ是ガ實現シ兼ネル場合ニハ、此ノ點ニ付テハ委員長ノ注意アル御尋デアリマシタカラ、注意ヲ以テ御答フシタノデアリマス、之ニ關スル解釋ノ質問應答ヲ御開キニナルト云フコトデアリマス、御答フシタ意味ガ徹底シナイヤウニナルト考ヘマスカラ、私ノ先程御答フシタ意味ヲ答辯ト御諒承ヲ願ヒマス

○末松委員長 大石君ニ申上ゲマスガ、委員長ノ質問ニ對スル答辯ニ付キマシテハ、委員長モアナタト同一ノ解釋ヲ諒承致シテ居リマス、必ズ其ノ趣旨ニ依ツテ農林大臣ハ之ヲ實行スルモノダト斯ウ信ジテ居リマスカラ、御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○大石委員 ソレデハ重ネテ御尋致シマセヌ、即チ本法ノ施行ニ付テモ御意見ノ通り

實行致シタイト存ジマス、斯ウ御答辯ニナリマシタカラ、若シ財政ノ都合デ此ノ前段ノ部分、即チ輸出検査ノ方モ徴收シナケレバナラスト云フ事態ニナレバ、實行ヲ延期シナケレバナラスト云フヤウニ解釋サレマスカラ、ソレデ確メタノデアリマス、サウ云フ御趣旨デアルトスレバソレデ諒承致シマス

○末松委員長 別ニ御質疑ガアリマセスカラ、ソレデハ是デ質疑ヲ終了致シマス、是ヨリ討論ニ入りマス——先ヅ第一ニ日本輸出農產物株式會社法案ニ付テ討論ニ入りマス、——木原君

○木原委員 私ハ民政黨ヲ代表致シマシテ、本案ニ對シ修正動議ヲ一ツ出シタイト思ヒマス、ソレハ第八條末項ニ左ノ一項ヲ加ヘルコトデアリマス

輸出農產物ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本輸出農產物株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

斯ウ云フ一項ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、此ノ理由ハ多ク申述ブル必要モゴザイマセヌ、要スルニ法ハ運用ニアリ、運用ハ人ニアルノデアリマス、ドウモ近頃國策會社ト名クルモノガ洵ニ澤山出來テ、サウシテソレノ主要幹部ハ兎角老朽官吏ヲ以テ之ニ當テラレテ居ルヤウナ傾向ガ多アルノデアリマス、斯ウ云フ國策ノ線ニ沿ウテ最モ必要ナル本會社ノ使命ヲ全フスルニハ、ドウシテモ練達堪ナル、而モ其ノ道ニ最モ經驗ニ富シタ御方ノ力ニ俟タナクテハナラヌコトハ申スマデモナイコトト思ヒマス、私共ハ特ニ此ノ一項ヲ加ヘテ、サウシテ飽

クマデモ本法ノ運用ヲ過タザラシメンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

○末松委員長 馬岡君

○馬岡委員 只今民政黨カラ御提案ニナリマシタ修正案ニ對シマシテ、立憲政友會ヲ代表致シマシテ之ニ贊成致シマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、大體委員長トノ間ノ質疑應答ニ依ツテ盡キテ居リマスガ、唯會社ノ運用上兎角此ノ種ノ會社ハ成績ノ見ルベキモノガナイト云フ批評ガアルノデアリマス、屋上屋ノ會社ヲ作ツタト云フ批評ヲ受ケナイヤウニ、此ノ會社ノ運用ニ向ツテ十分ノ監督ト指導ヲセラレンコトヲ希望致シマシテ、贊成ノ意ヲ表シマス

○末松委員長 伊東君
○伊東委員 政友會正統派ヲ代表致シマシテ、只今ノ修正意見ニ贊成致シマス

○末松委員長 前川君
○前川委員 社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、只今ノ修正ヲ加ヘマシテ贊成致シマス、同時ニ運用ニ當リマシテハ、特ニ國策會社ト云フモノハ今後益、多ク出來ルト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテ、運用ノ上ニ於キマシテ一層ノ御注意アラントヲ望ミマス

○末松委員長 大石君
○大石委員 時局同志會ヲ代表致シマシテ、只今委員長ト農林當局トノ質問應答ノ事項ヲ必ズ實現ガ出來ルモノト云フコトヲ了承致シマシテ、修正案ニ贊成致シマス、尙ホ希望事項ニ付テハ、本會議ニ於テ述べルコトヲ留保シテ置キマス

○末松委員長 北君
○北委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、同様只今ノ修正案ニ贊成致シマス

○末松委員長 各派一致ノ第八條ノ末項ニ一項ヲ加ヘルト云フ修正案ニ贊成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔議員起立〕

○末松委員長 起立議員、滿場一致ヲ以テ修正ニ決定致シマシタ、修正案ヲ除キタル原案ハ可決スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○末松委員長 御異議ナシト認メ、可決ニ決定致シマス

○末松委員長 次ニ農產物検査法案ヲ議題ニ供シマス——伊東君

○伊東委員 政友會正統派ヲ代表致シマシテ、農產物検査法ニ對シマシテ修正ノ動議ヲ提出致シマス、修正ノ要點ハ、第一條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フルコトデアリマス

本條ノ規定ニ依ル検査料ハ之ヲ徵收セズ
第二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依ル検査手数料ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條ハ全部削除致シ、以下各條ヲ繰上ゲルト云フ、此ノ修正動議ヲ提出致シマス

修正ノ趣旨辯明ヲ致シマス、修正ノ理由トシテ根本的ニ考ヘル點ハ、國ガ強制的ニ國營検査ヲ行フ場合ニ手数料ヲ徵收スルコトハ不合理デアルト思フ、仍テ是ハ當然免除スベキモノデアルト信ジマス、又生産ト移出ヲ併合シテ一本建ノ單一検査ニ對シマシテハ、縣内消費米ノ手数料徵收ニ對シマシテ稍、難色ガアルト考ヘマスノデ、寧ロ販賣米ニ對シテハ全部検査料ヲ徵收セナイト云フコトノ方ガ適當ダト考ヘルノデアリマス、隨テ第二條ノ申出ニ依ル委託検査料ハ、是ハ強制検査デアリマセヌカラ、

當然料金ヲ徵收スベキモノナリト考ヘマシラガ、但シ其ノ料金ニ付テハ高過ギテハナラナイト考ヘル譯デアリマス、今ヤ國家ノ重大時局ニ際會致シマシテ、戰爭遂行上、殊ニ國民ノ食糧ノ確保ハ現下ノ緊急事デ、是ガ増産ヲ圖ラナケレバナラナイノデアリマス、増産ノ手段トシテハ色々アリマスルケレドモ、其ノ重點ハ肥料、勞力及ビ其ノ他ノ物價ノ暴騰等ヨリ考ヘテ、米價ヲ上ゲルト云フコトガ第一デアリマス、然ルニ低物價政策ヲ堅持スル國策上ノ見地カラ、値上ハ之ヲ致スコトガ出來ナイト云フノガ現在ノ政府ノ建前デアリマス、併シナガラ石炭ニ獎勵金ヲ與ヘ、其ノ他國策物資及ビ生活必需品ニ對シテ相當ノ助成金ヲ支出シテ居ル今日ニ於キマシテハ、獨リ米價ノミヲ抑

ヘルコトサヘ非常ナ矛盾ダト考ヘテ居リマス、況ヤ検査手数料ヲ徵收スル如キハ、洵ニ不合理ダト私ハ考ヘルノデアリマス、更ニ修正理由トシテ附加スベキコトハ、第一條第一項ノ勅令ヲ以テ指定スル所ノ農產物ハ、玄米、精米、粳、大麥、裸麥、小麥、菜種ノ七種デアリマス、検査手数料トシテ徵收スベキ命令内容ヲ見マスル時ニ、玄米一俵ニ付テ六錢、精米六錢、粳三錢、大麥三錢、小麥四錢、裸麥四錢、菜種四錢、右ハ何レモ強制検査ヲ爲スモノデ、之ニ對シテ以上ノ料金ヲ徵收スルト云フコトニ相成ツテ居

ルノデアリマス、然ルニ府縣營時代、即チ現在、生産検査ニ致シマシテモ一厘モ料金ヲ徵收セザル府縣ハ二十六縣アルノデアリマス、今度國營検査ニ移管サレテ本法ガ實施サレル時ハ、米一俵ニ付テ六錢ヲ徵收セラレノデ、農家ノ損失ハ勿論、府縣ニ依ツテハ相當多額ノ損失ヲ來スヤウニ考ヘルノ

デアリマス、又更ニ現在生産、移出ヲ通ジテ徵收セル府縣ト雖モ、本法施行ノ場合ニ於ケル六錢以下ノ所ハ下ノ位アルカト申シマス、先ヅ三錢ノ所ガ三縣、四錢ノ所ガ四縣、五錢ノ所ガ五縣、六錢ノ所ガ九縣デアリマスカラ即チ二十一縣ニ達スル、是等ノ點カラ考ヘマシテモ、私共ハ手数料ヲ取ルト云フコトハ矛盾デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ昭和十五年度ノ農產物検査所ノ豫算ハ五百六十一萬圓デアリマシテ、其ノ内六十萬圓ガ國費負擔ニナツテ居ルヤウデアリマス、昭和十六年度總豫算ハ九百七萬圓ニナツテ、內國費負擔ハ八十萬圓デアリマス、今日マデノ府縣營検査ノ場合ニ於テスラ、府縣支辨額ハ百五十萬圓ト稱サレテ居リマスガ、今回國營ニナツテ國費支辨額ガ六十萬圓トハ、洵ニ妥當デナイ、何處ニ國營トシテノ意義ガアルカト云フコトヲ私

非常ニ疑フノデアリマス、穀物ノ國營検査ハ我黨多年ノ主張デアリマスガ、何處ニ眼目ヲ置イテ我黨ガ主張シテ居ツタカト云フコトヲ、一ツ書キニシテ申上ゲマスルナラバ一、手数料ヲ全廢シ負擔ノ輕減ヲ計リ以テ増産及ビ農事改良ニ資シ農村ノ振興ニ寄與スルコト

二、検査ノ公正ヲ計リ其検査ニ權威アラシメ現時各府縣ニ存スル検査ノ弊害ヲ矯正スルコト

三、規格銘柄ヲ統一シ検査ノ單純化ヲ計ルコト

四、検査員ヲ優遇シ以テ検査ノ眞價ヲ保持シ米穀政策遂行上ノ中樞機關クヲシムルコト

五、地方消費米ハ單俵ニ統制シ更ニ俵入ヲ改メテ吸入ニ統一シ手数料省キ材料ヲ

節約セシムルコト

六、容積取引ヲ重量取引ニ統一シ良質多收穫ノ農業經營ニ轉向セシメ増産ヲ計ルコト

七、白米小賣販賣ニ對スル監督規律ヲ行ヒ價格差ノ方針ヲ樹立シテ消費者ノ利益ヲ計ルコト

八、戰爭中ニ限り米穀ノ事情ニ顧ミ検査等級ヲ全廢スルコト

以上ガ大體我黨ノ國營検査ニ對スル考ヘ方デアリマス、サウシテ右申上ゲタヤウナコトヲ眼目トシテ、國營検査ヲヤルベキモノト考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、是等ノ點ガ本法ニハ何等窺知ルコトガ出來ナイ、唯只今ノ御答辯ニ依ツテ、稍、今主張スルヤウナ點ガ今後採入レラレルダケデアリマス

更ニモウ一點申上ゲテ置キタイコトハ、米穀政策ノ最後ノ切札ハ、私ハ米ノ專賣ダト考ヘテ居リマス、是ハ我黨多年ノ主張デアリノデアリマス、昨年ハ其ノ前提ト致シマシテ、米穀配給統制法ヲ實施シタノデアリマスケレドモ、其ノ内容ガ不備ノ爲ニ、其ノ機能ハ發揮セラレナイノデアリマス、今議會ニ米ノ應急措置トシテ、米ノ強制買上ヲ行フ事ニナリマシタガ、根本問題トシテハヤハリ米ノ專賣ダト考ヘテ居リマス、米ノ專賣ニハ色々條件ガ必要デアリマス、米ノ集荷及ビ配給機構トシテノ産業組合ノ活動及ビ商業組合ノ整備、倉庫ノ問題、買上ノ時期、買上範圍、代金支拂方法ノ技術的操作モアリマス、而シテ一番困難視シテ居リマシタ所ノ價格ノ決定モ、大體ニ於テ公定價格制度ニ依リマシテ、或ル程度解消ニナツタノデアリマス、而モ米專賣ニ最モ必

要ナルモノハ、此ノ米ノ國營検査法ノ實施デアリマス、幸ニ茲ニ本法ガ提出セラレタコトハ、其ノ精神ニ於テ洵ニ喜ベキコトデアリマスケレドモ、右申上ゲルヤウニ私ハ其ノ内容ニ於テ、斷ジテ贊成スルコトガ出來ナイノデアリマス、就中國營検査ニ於テ、手數料主義ノ本案ニ對シテハ、以上申上ゲルヤウニ絶對ニ反對デアリマス、斷ジテ手數料徴收ノ制度ヲ本案カラ除去シテ、純正ナル國營検査トシテ、農民ノ負擔ヲ絶無ナラシメ、以テ食糧確保ニ協力シヨウト云フ考デアリマス

以上ニ依リ大體ニ於テ本案修正ノ理由ハ明確ニナツタト思フノデアリマス、農民ノ味方、農村ノ振興ヲ常ニ絶叫セラレル各位ハ、此ノ主張ニ誰一人反對ハナイト考ヘテ居リマス、各位ノ贊成ヲ要求スル者デアリマス、更ニモウ一ツ附帶決議ヲ提議致シマス

附帶決議

一、事變中ニ限り増産多收ヲ必要トスル米穀事情ニ鑑ミ検査ヲ緩和シ且ツ等級ヲ撤廢シ以テ市場搬出米ノ増加ヲ計ルベシ

此ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、穀物検査ノ目的ハ、米質ヲ改善シ、以テ商品價值ヲ向上スルニアルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ事變下ノ米穀事情ハ全ク異ツテ居ル状態ニアルコトハ、説明ヲ要シマセヌ、現在ノ米ノ検査等級ハ、隨テ事變下ニ限ツテ、等級ヲ合格、不合格ト區分スルノミトシテ、市場ノ搬出米ヲ容易ニ、豊富ニ、自由ニ増加セシメタイト云フノデアリマス、即チ茲ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、現在生産米ハ凡ソ六千五百万石ト稱セラレテ居リマスガ、内販賣米ハ三千五百万石、内縣外移出ハ千

五百万石デアアルノデアリマス、最近消費ノ増加ノ上ニ、肥料、勞力關係等デ、米ハ將來減産スルモノト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ單ニ検査ノミニ力ヲ注グヨリモ、私共ハ増産ト云フコトニ全力ヲ注グベキモノダト考ヘテ居リマス、而モ白米ニナツタ結果ガドウナルカト云フト、一等米モ不合格米モ區分ガアリマセヌ、而モ外米ヲ混合シテ販賣致シテ居リマスノデ、利益ヲ受ケル者ハ唯商人バカリデ、農民ノ汗ト努力ニ依ル改良ハ、總テ犧牲ニ供セラレテ居ルコトヲ洵ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、但シ茲ニ附加シテ置キタイコトハ、事變下ニ限ルトシタ點デアリマス、即チ從來ノ米質改良ハ、國モ、縣モ、町村モ、各百姓モ、全力ヲ擧ゲテ今日ノ優質米ヲ得ルニ至ツタノデアリマス、故ニ之ヲ全廢スルコトハ、第一ニ農民ノ思想ニ及ボス影響ガ宜クナイト云フコトハ承知致シテ居リマス、又等級差ニ依ル格差ハ、大體五十錢前後デアリマスルガ、此ノ爲ニ品質ノ改良ニ相當效果ノアルコトモ承知致シテ居リマス、又此ノコトニ依ツテ小作米ノ補償制度ニ關係ノアルコトヲ承知致シテ居リマス、此ノ最モ重大ナル食糧問題ノ解決ノ一助トシテ、此ノ事變下ニ限ツテ、右申上ゲルヤウナ大英斷ヲ致シマスルコトガ、極メテ適切妥當ナリト考ヘマシテ、此ノ附帶決議ヲ附加ヘルコトニ對シマシテモ、各位ノ贊成ヲ得タイト思フノデアリマス

○本原委員 只今立憲政友會ノ正統派ヲ代表致サレテ、原案ニ不同意ノ御意見ノ御發表ガアリマシタ、其ノ理由ヲ色々觀點カラ御述ニナツテ居リマス、如何ニモ御尤モ

ナ次第デアリマス、私共國營検査ニ移サレタル以上、手數料ハ徴收スベキモノニアラズト云フ原則ニ付テハ、是ハ同一意見デアリマス、左様ニ願ヒタイノデアリマス、併シ此ノ點ニ付テハ、當委員會ニ於テ同僚諸君ト共ニ當局ニ其ノ全廢ヲ迫ツタノデアリマスケレドモ、當局ノ説明ハ、固ヨリ其ノ根本ノ趣旨ニ於テ御同意デアアルケレドモ、財政ノ都合上已ムヲ得ナイ、ソコデ財政ノ許ス限リニ於テ御互ノ主張ノ一致點ヲ圖リタイ、斯ウ云フ見地カラ致サレテ、先程大臣ト委員長トノ質問應答ヲ行ツタヤウナ次第デアリマス、ソレデ吾々共ハ結局此ノ交渉ノ結果ト致シテ、縣外移出ノ手數料ダケハ之ヲ認メヨウ、是ハ何モ生産者ニ直接其ノ負擔ガ掛ルモノトハ思ハナイ、又同時ニ消費者ニ直チニ是ガ轉嫁サレルモノトモ思ヒマセヌ、此ノ位ノ程度ハ甘ンジテ置カウ、ソレガ爲ニ此ノ案ガ潰レルヨリモ、一般農家ノ希望スル所デアリ、國家ノ爲ニヨリ大ナル利益ヲ齎スモノデアラウ、斯ウ吾々ハ考ヘマスルガ故ニ、本案ハ決シテ完璧ナモノト存ジマセヌケレドモ、當局ノ御説明ヲ信ジテ、財政上ノ都合ニ依ツテ、本年度ハ此ノ程度デ認メテ置ク、併シナガラ財政ノ餘裕ヲ生ズルニ從ツテ、國營検査ニ伴フ手數料ハ全廢スルコトニ進ンデ戴キタイト云フノガ、私共ノ主張デゴザイマス、只今折角ノ御意見デゴザイマスケレドモ、此ノ場合同意スル譯ニハ行カナイノデアリマス

○東條委員 伊東君ノ動議ニ贊成致シマス
○馬岡委員 只今伊東君カラ政友會久原派ヲ代表シテノ修正意見ヲ出サレマシタ、不幸ニ致シマシテ之ニ同意致シ兼ねル者デア

リマス、何故ナラバ此ノ農産物検査ハ臨時措置法デアリマセヌ、是ハ恒久的ノ穀物検査デアリマス、又現下ノ米穀情勢カラ考ヘマスルナラバ、是ハ色々ト考ヘ合サナケレバナナリト點デアルコトハ御尤モデアリマス、今是ガ商品トシテ考ヘテ受益者検査ニ依ルモノナラバ、適當ノ手数料ヲ取ルノハ當然デアリマス、併シ國民生活ノ必需品デアルト云フ點カラ考ヘマスルナラバ、之ニ或ル程度ノ手心ヲ加ヘルノモ亦當然デアリマス、此ノ二點カラ考ヘ合セマシタナラバ、農民ノ負擔ニナラナイ、又消費者ノ負擔ニナラナイ、中間業者ノミノ負擔ニ屬スル移出検査手数料ハ、相當ノ程度デアルナラバ是ハ取ツテモ宜イト考ヘルノデアリマス、殊ニ之ヲ取ラナイコトニ對シマシテハ、私共ハ最モ望ム所デアリマスルガ、今日マデノ當局ノ御説明ニ依リマシテモ、之ヲ取ラナイト云フコトヲ吾々ガ主張スル時ニ於テ、本案ガ不成立ニ終ル場合ヲ考ヘマスルナラバ、各府縣ニ於ケル移出検査ニ手心ヲ加ヘテ思フ通りニ米ノ操作ガ出來ナイ、ソレカラ延イテ現下米穀事情ヲ想ヒ起ス時ハ、少々ノ苦痛ハアツテモ是ハ已ムヲ得ナイ、早く成立サセナケレバナナリ、此ノ意味ニ於テ、折角ナガラ此ノ修正案ニハ御同意スルコトハ出來ナイノデアリマス、詳シイコトハ何レ本會議ノ討論ノ際ニ申上ゲタイト思ヒマス、又希望御意見ノ等級撤廢問題デアリマス、是ハ農民ノ爲米穀ノ等級ヲ撤廢シナケレバナナリト云フ御意見デアリマス、私共ハ不幸ニシテ反對ニ解釋スル者デアリマス、同一ノ努力、同一ノ力ヲ以テ米ノ多收穫ヲスルコトハ、他ノ方ニ屬スルコトデ、検査法ニ屬スルモノデアリマセヌ、出來上ツタモノ

ヲ検査スルトスルナラバ、茲ニ資質ノ相違ニ向ツテ良イ米ノ出來タモノモ、惡イ米ノ出來タモノモ同一品質ト査定サレルナラバ、茲ニ惠マレル者ガ無クナルノデアリマス、等級階段ヲ置クナラバ茲ニ初メテ惠マレルモノガ出來ルノデアリマス、大體ノ價格ヲ現在ノ如ク茨城四等ニ、大多數ノモノヲ標準ニ置カレルナラバ、等級ヲ附スル方ガ農民ハ惠マレルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ附帶決議ニハ賛成スルコトハ出來ナイノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○北委員 極メテ簡單ニ一言意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、國家ノ必要カラスル所ノ國營検査ニ於テ、生産検査手数料ヲ全免スルト云フコトハ當然ナコトデアリマス、ノミナラズ縣外移出検査ニ付キマシテモ、私共ハ出來得レバ無料ガ宜イノデアリマス、併シ是ハ從來各地トモ有料デヤツテ居ツタノデアリマス、此ノ負擔ハ實質上何人ノ負擔ニナルカト云フコトハ分ラナイノデアリマス、即チ取引關係カラ、或ル場合ニハ業者ノ負擔ニナルコトガアリ、又或ル場合ニハ消費者ノ負擔ニナル場合ガアル、或ハ又時ニ依ツテ生産者ノ負擔ニナルコトモアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスカラ國費多端ノ今日、徒ニ難キヲ強イルノモドウカト思ヒマシテ、是ハ已ムヲ得ザルモノトシテ認メテ次第デアリマス、其ノ他ノコトニ付キマシテハ本會議何レ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○大石委員 時局同志會ヲ代表致シマシテ、政友會正統派ノ修正ニ反對致シマス、産米検査ヲヤリマスコトガ生産者ノ爲ニ利益デアル、商品價值ガ向上スルカラ利益デアル

ト云フ建前カラ、此ノ手数料ヲ御取リニナル立案ガ出來タヤウニ農務局長ノ御答辯ガアツタ、併シ成程幾ラカ商品價值ガ向上スルカモ知レマセヌガ、検査ノ爲ニ要シマスル農民ノ支出ノ點ニ付テ御尋致シマシタケレドモ、ソレハハツキリ調査ガ付イテ居ラスト云フコトデ答辯ヲ戴キマセヌ、私共ハ検査ニ依ツテ商品ノ價值ノ向上ニ依ツテ得ル所ト、農業者トシテ検査ニ依ツテ失フ所ト差引スルナラバ、農民ニ利害ハナイ、斯ウ斷定スル者デアリマス、隨テ之ヲ徵收スルコトハ不當ト考ヘマスケレドモ、委員長ト農林大臣トノ質問應答ニ於キマシテ、將來私ハ此ノ手数料ハ省カレルモノダト想像致シマス、此ノ案ガ出來マシタ時ニ實ハ委員長ニ御尋シタ、農産物検査ノ手数料ヲ取ルコトハ現下ノ米穀事情ト國營検査ノ本質ニ鑑ミテ不當デアアル、併シ已ムヲ得ナケレバニツニ切ツテアリマス、此ノ趣旨ニ依ツテ極力實現ニ政府ノ努メルガ、若シ實現ガ出來ヌ場合ニ於テハ地方消費米ニ對シテハ考ヘル、斯ウ言フナラバ、移出検査料モ此ノ中ニ含ンデ居ルカト御尋シタラ、其ノ通りダト云フ委員長ノ御答ガアツタ、尙ホ重ネテ只今農林大臣ニ御尋シタ所ガ、委員長カラ注意ガアリマシタカラ、最初御尋シタ委員長ノ御答ヲ諒承シテ打切ツタノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマスナラバ、大體政友會正統派ノ御主張モ必ズ實現スルノデハナイカト思ヒマス、隨テ其ノ修正ニ反對ヲ致シマシテ原案ニ賛成スルノデアリマス

○前川委員 社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、先程ノ政友會正統派ノ修正案ニ對シマシテ遺憾ナガラ反對ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、検査手数料ニ付キマシテ、此ノ際政府ノ考ヘラレテ居リマスヤウナ全面的ナ、初メ考ヘテ居リマシタヤウナ徵收ヲサレルコトニ對シマシテハ、社會大衆黨ハ遺憾ナガラ反對スルノデアリマスガ、只今委員長及ビ農林大臣ノ質疑應答ノ中ニ現ハレマシタ言葉ヲ信賴致シマシテ、私達ハ政友會正統派ノ修正案ニ反對致シマス、此ノ際特ニ農林當局ノ御考慮ヲ戴キタイコトハ、石炭其ノ他ノ助成金或ハ獎勵金ニ依リマシテ生産擴充ノ案ガ現政府ニ依ツテ出來テ居ルノデアリマスガ、特ニ食糧ノ確立ノ必要ナ現段階ニ於キマシテ、食糧充實ノ爲ニ、生産力擴充ノ爲ニ色々ナ案ガ考ヘラレテ居ル場合ニ、此ノ國營検査ヲ強制スルニ當リマシテ、七八百萬圓ノ負擔ヲ農民ニ致サス、斯ウ云フコトハ、政府ノ今執ツテ居リマス方針トハ全然逆デアリマシテ、唯サハ負擔ノ大キナ農村ニ——都會ニ於キマシテハ買溜、賣溜ト云ツタヤウナ洵ニ怪シカラヌ行爲ガアリマスガ、農村ハ闇取引ニ依リマシテ高イ物ヲ買ツテ、賣ル物ハ公定價格ヲ抑ヘラレテ居ルコト云フ中ニモ辛抱致シマシテ、時局ニ最モ根強ク協力シテ居ルノデアリマスガ、其ノ農民ニ此ノ上更ニ數百萬圓ノ負擔ヲセシメルコトハ、私共ハ斷ジテ忍ブコトハ出來マセヌ、検査手数料ヲ徵收スルコトニ對シテハ賛成シ難イノデアリマス、唯其ノ四千萬石餘ノ販賣米ノ中、一千五百万石ノ縣外移出米デゴザイマスガ、是ハ生産者ノ直接ノ負擔ニセズシテ、所謂米穀業者ノ利潤ノ中カラ負擔スベキモノガ、今マデノ移出検査料トシテ行ハレテ居ツタノデアリマス、今後出來ルナラバ、此ノ一千五百万石程度ノ縣外移出米ニ對シマシテモ、當

然此ノ検査手數料ハ廢止スベキモノデア
ト思フノデアリマスガ、色々費用其ノ他
點ヲ考慮致シ、而モ是ガ商人ノ負擔デア
ツテ、生産者、消費者ニ直チニ轉嫁サレ
ルモノデアイト云フ點ヲ考慮致シマシテ、
先程ノ委員長及ビ農林大臣ノ質疑應答ノ
中ノ言葉ヲ信賴致シマシテ、伊東君ノ修
正案ニ反對ヲ致シマス、其ノ他詳細ノコ
トハ本會議ニ於テ申述ベタイト思ヒマ
ス

○末松委員長 一寸大石君ニ御注意シ
マスガ、私ノ先ニ諒承シタコト云フコ
トハ、手數料全廢ガ出來ナケレバ此ノ法
案ヲ實施シナ
イト云フ農林大臣ノ答辯デハナクテ、
農林大臣ノ答辯ハ、其ノ前段ニ付テハ
出來得ル限リ速ニ之ヲ實行スル積リ
デアルガ、手數料ノ問題ハ生産手數料
ヲ無料トスル點ニ於テ、所謂移出
手數料ヲ取ルト云フ程度ノ此ノ法案ガ
實行出來ナケレバ之ヲ延期スルト云
フコトデアツタト私ハ解釋シタノデア
リマス、若シ其ノ點ヲ大石君ガ、即チ
手數料全廢ト云フコトガ實行サレナ
ケレバ此ノ法案ノ施行ヲ延期スルト
云フ農林大臣ノ答辯デアツタト御解
釋デアレバ、其ノ點ハ私ノ言ツタコ
トト少シ違ヒマスカラ、其ノ點私
ノ解釋ヲ申上ゲテ置キマス

○大石委員 實ハ之ヲ御示シ願ヒ
マシタ時ニ私ガ疑ヲ起シマシタノハ、
アナタノ御問ハ前段ト後段ニ分レテ
居リマス、前段ノ通りナラバ全廢ニ
ナル、農林大臣ノ御答ハ前段ト後段
ニ分ケズシテ、御趣旨ハ至極御尤モ
デアル、全體ヲ尤モト思フ、直グ引
續イテ、財政上ノコトモ篤ト考慮ノ
上、極力是ガ實現ニ努力スルコトニ
致シマスと言ハレタ、隨テ其ノ御問
ハ二ツニナツテ居ルガ、答ハ一ツニ
ナツテ居ルカラ、隨テ移出検査

料モ取ラナイヤウニ極力努力ナサル
ト云フ意味ダラウト私ハ解釋シタノ
デス

○末松委員長 努力スルト云フコ
トデ、ソレガ爲ニ本案ノ施行ヲ延
期スルト云フ問題ハソコマデ掛ツ
テ居ナイノデス——是ニテ討論ハ
終結致シマシタ、本案ニ付テ採決
致シマス、伊東君ノ修正案ニ贊成
ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

〔贊成者起立〕

○末松委員長 起立少數、同ジク
同君ノ附帶決議ニ御贊成ノ諸君ノ
起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○末松委員長 起立少數、仍テ修
正案及ビ附帶決議ハ否決トナリ
マシタ——本案ヲ原案通り決ス
ルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマ
ス

〔贊成者起立〕

○末松委員長 起立多數、仍テ本
案ハ原案通り可決致シマシタ、
委員諸君ノ連日ノ御勞苦ニ對シ
テ深ク感謝ノ意ヲ表シマス、是
ニテ散會致シマス

午後三時三十分散會

衆議院農產物検査法案委員會
議錄第四回中正誤

頁 段 行 誤 正
四八 一 一六 伊藤委員 伊東委員